

第1回 弥富市公共交通勉強会 結果概要

実施日時

令和8年6月19日（金）10：00～11：30
弥富市役所3階大会議室

参加者数

10名

内容

- ・本市の公共交通の現状と今後
 1. 勉強会の趣旨・目的
 2. 公共交通の状況
 3. チョイソコやとみについて
 4. きんちゃんバスについて
 5. 今後の公共交通について
 6. 地域公共交通計画について
- ・意見交換

1. 勉強会の趣旨・目的

- 背景
 - ・令和8年3月に第2次計画において、公共交通と市民が一緒に考え環境を醸成することとし
- 勉強会の趣旨・目的
 - ・地域公共交通計画の策定確認
 - ・本市の公共交通の現状
 - ・今後の本市の公共交通

3. チョイソコやとみについて

- “チョイソコやとみ”とは
 - ・会員登録（無料）をした上で、当日30分前に電話やスマホで、自宅近くにある指定されたワンボックスタイプの車両市内（一部市外）目的地へ移動することができる公共交通

3. チョイソコやとみについて

チョイソコとは

会員のご自宅近くの停留所から行き先の停留所まで、乗車申込制で複数の会員を乗り合わせて送迎するサービスです。

4. きんちゃんバスについて

- 利用者数の推移
 - ・どのルートにおいても令和3年度以降回年度傾向で乗証運行に伴い、令和7年度は大幅に減少

年度	北線ルート	南線ルート	東線ルート
H29	78,276	37,230	12,199
H30	78,882	36,634	13,296
H31	83,708	34,864	14,510
H32	83,171	36,381	14,228
H33	63,797	30,189	8,767
H34	66,134	30,877	8,310

5. 今後の公共交通について

- 状況
 - ・令和7年10月から実証運行しているチョイソコやとみについて、予約不成立等の課題が明らかとなった
- 今後の方向性・予定
 - ・課題の改善・解消を目的に、令和8年10月から2年目の実証運行を実施する予定
 - ・上記の内容を「弥富市地域公共交通活性化協議会」（6/25（金）開催）にて報告

◆実証スケジュール

29



意見・回答一覧

No	質問	回答
1	・チョイソコやとみの運行費用は月額どの程度か。また、特に南部地域のような低密度エリアを含めた場合、運賃収入はどの程度か。	・運行費用を月額約 450～500 万円、運賃収入を月額約 30 万円
2	・新しい公共交通として、デマンド交通以外の選択肢はなかったのか。	・デマンド交通の先進事例を視察して決定した。
3	・鍋田支所から近鉄弥富駅へのバスが早朝 6 時 20 分となっており早すぎる。以前、出発時間を遅くしてほしいと要望を出したが逆に早くなっている。 ・南部地域がきんちゃんバスを最も利用しており、チョイソコやとみよりも使いやすいと思う。	・近鉄弥富駅への到着時刻（通学時間）に合わせて設定している。
4	・南部地域のきんちゃんバスについて、近鉄弥富駅へ直行すれば時間を短縮できるが、鍋田支所周辺や堤防側を経由するルートとなっており所要時間が長い。なぜこのルートを採用しているのか。 ・ルートを決めるに当たり、話し合いの場や会議を設けてほしい。	・鍋田支所周辺など南部地域の住宅地を幅広くカバーするため現行ルートとしている。
5	・南部地域は、飛島村の公共交通バス（蟹江線）や愛西市・木曽岬町など、周辺市町の交通に依存している状況がある。弥富市単独ではなく、飛島村・蟹江町など周辺自治体と連携した広域的な公共交通として整備すべきではないか。	・広域的な連携の重要性は認識しているが、具体的な連携強化策については今後の検討課題である。
6	・南部地域では自転車でバス停までアクセスする利用者が多いが、鍋田支所や学校以外では駐輪場が不足しているのではないか。	・鍋田支所や公共施設では整備しているが、全バス停への設置は困難である。
7	・南部地域の小学校周辺（公民館付近・正門前）でバスと児童の動線が重なり危険であるが、過去要望が反映されていない理由は何か。	・現地確認を行い、三重交通等と連携して対応を検討する。
8	・きんちゃんバスについて、年間約 8,600 万円の運行経費に対して収支率が約 4.6%であるが、南部地域・北部地域を含めてこのまま維持すべきか。	・赤字は認識しているが、交通弱者対策として一定の維持が必要であると考えている。

No	質問	回答
	・きんちゃんバスを廃止して、タクシー助成をしたらどうか。	
9	・南部地域のような地域では、中型バスではなく、マイクロバスに変更することや時間帯に応じて、車両サイズを変えた運行の方が効率的ではないか。	・車両規模や運行形態の見直しは今後の検討対象である。
10	・よつば小学校開校に伴い、スクールバスが13台導入される。日中時間帯に一般利用として活用できないか。	・学校教育課などと連携しながら、活用を検討する。
11	・チョイソコやとみの運賃は安すぎる。電話での予約とネットでの予約では、人件費等のコストが違うため、予約方法に応じて料金を変えたらどうか。 ・回数券も電子チケットにしてほしい。	・今後の検討の際の参考とする。 ・回数券は電子でも配布している。
12	・きんちゃんバスについて、以前は高齢者は無料だったが、現在は100円になっている。高頻度で利用するため、これ以上運賃が上がり続けられない。	・今後の検討の際の参考とする。
13	・地域の要望や意見はこれまでも言われてきている。地域公共交通活性化協議会では議論する時間はないため、地域での話し合いの場や協議の場を設けることをどういった場、どのような体制で議論するか考えてほしい。	・市民からの意見は様々であるが、バランスの取れた公共交通とする必要がある。チョイソコやとみの本格運行や今後の公共交通の在り方等についてアンケート等で意向を調査する予定である。
14	・南部地域から中心部の病院へチョイソコやとみを利用する場合、診察終了時間が読めず帰りの予約が困難であり、徒歩で帰宅するケースが発生している。 ・当日30分前まで予約が可能と言われているが、予約が取れたことはない。	・複数利用者の乗合運行のため、時間変更は困難であり再度予約していただく必要がある。 ・現状は事前予約前提であり、課題として認識している。
15	・きんちゃんバスの運行本数について、佐古木地区に住んでいるが、特に日中時間帯の便数が少なく、利用しづらいため、一便増やしてほしい。	・今後の検討の際の参考とする。